

## I 実践

### 1 あいさつ運動の実施

本校では、朝のあいさつ運動を生徒会が中心になって行っている。登校時のあいさつを進んで行い、よりよい人間関係を築き上げようという運動である。

また、生徒会だけでなく、生活委員会や学級役員、さらには部活等のボランティアも運動に参加し、一年を通して継続して行ってきた。



#### (1) 成果

日々の実践を継続することで、あいさつをすることが習慣づけられた。校内を歩くと多くの生徒が進んであいさつをしてくる。一方、声が小さい生徒や、教師側から声をかけても返事やあいさつができない生徒も散見される。あいさつの大切さを継続指導していく必要がある。

### 2 地域への積極的な関わりをもつ実践

#### (1) 学区清掃

いつもお世話になっている地域への感謝の気持ちを醸成することと、誰かのためになることの大切さを実感させることなどを目的として、学区周辺の清掃活動への参加をクラス単位で呼びかけている。生徒と教師が協働することで、一体感や達成感を共有することも期待している。



#### (ア) 学区清掃の成果

本年度は全学級が学区清掃へ参加することができた。強制ではないが、多くの生徒が自主的に参加し、共に働く喜びを感じたり、地域のためになることを実践できたことに対して達成感を感じたりすることができた。

#### (2) 地域行事へのボランティア参加

大久保中学区では、大きなお祭りとして長年続く地域行事「よかっぺ祭り」や「ひたち国際大道芸」が行われている。ボランティア委員会が中心となり、各種行事へのボランティア参加を呼びかけ、毎年多くの生徒が自主的に参加している。

(ア) 地域行事へのボランティア参加の成果

どちらのお祭りでも祭りの運営補助や会場清掃に多くの生徒が参加した。よかっぺ祭りでは吹奏楽部もボランティア参加で演奏を行い、来場者から多くの拍手をもらうことができた。



II 今後の課題

個々の活動を通して、生き生きと輝く生徒の姿をたくさん見ることができた。誰かのためになっていると実感できる活動は生徒の人権意識を大きく高めることにつながるということが分かった。また、一人ではなく複数の仲間と共に働くことで効果が大きくなったり、自分が励まされたりすることを実感できたようである。これからも仲間とともに地域やみんなのために働くこと・活動することのよさを体感させていきたい。

また、自主的参加の活動を、全生徒につなげていけるように教材化していけば、参加した生徒は自分の活動を振り返り、効果をより深く実感させたり、参加しなかった生徒の意識を高めたりすることができるだろう。教材化が今後の大きな課題の一つである。

III 人権コーナー設置の様子

